

2024年4月1日から2026年3月31日までにドクターヘリ活動にて発生した インシデント・アクシデントの事例の臨床研究に対するご協力をお願い

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させて頂きますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】 日本航空医療学会ドクターヘリインシデント・アクシデント登録と要因分析に関する研究

【研究の目的】

近年、ドクターヘリの全国展開が急速に進み、年間 27,000 件を超える出動件数を誇ります。これまで大きな事故なく活動が行われてきましたが、2016 年神奈川県ドクターヘリの着陸事故を受け、改めてドクターヘリの安全な運用・運航について検討がなされてきました。厚生労働科学研究“ドクターヘリの適正配置・利用に関する研究”(主任研究者:猪口貞樹)では“ドクターヘリの安全な運用・運航のための基準”(以下安全管理基準)を作成し、厚生労働省からドクターヘリの安全運航のための取組について(医政地発 0725 第 3 号 平成 30 年 7 月 25 日)が発出されました。その中ではドクターヘリに関するインシデント・アクシデントの収集を行い、分析することが今後の安全な運用・運航に資するものとされています。本事業の意義は、全国の基地病院よりドクターヘリの活動に関するインシデント・アクシデントを収集し分析することにより安全な活動を行い、ドクターヘリのさらなる質の向上に寄与することにあります。

【対象となる方】

2024年4月1日から2026年3月31日までにドクターヘリ活動にて発生したインシデント・アクシデントの事例

【使用する検体・診療情報】

診療記録などを調査集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。各研究参加施設が、対象となる方の診療記録(カルテ)や画像検査データ等から、個人がわからないように匿名化したうえで、搬送日、年齢、傷病名、治療、転帰、ドクターヘリ活動で生じたインシデントやアクシデントなどの情報を日本航空医療学会へ送付し、調査・集計が行われます。医療機関外へお名前や個人情報がでることはありません。必要な医療情報のみを集計し、個人情報管理には十分に配慮いたします。

【研究期間】 臨床研究審査委員会承認日から2026年3月31日

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報
は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立中央病院 救急科 医監部長 田中 光一

【問い合わせ先】

松山市春日町 83 番地

愛媛県立中央病院 救急科 医監部長 田中 光一

電話 089-947-1111 FAX 089-943-4136

または

日本航空医療学会事務局（電話：代表030-3384-8042）